

## DF議会主催・「日本人移住の日」記念非公式オンライン・イベント：山田大使挨拶

初めに、本日の「日本人移住の日」を記念して、このような記念イベントを開催していただきましたこと、また、開催に当たってのジュリア・ルーシーDF議員のイニシアティブに御礼申し上げます。素晴らしい太鼓の演奏もありがとうございました。

日本はブラジルを、自由、民主主義、人権の尊重、法の支配といった基本的価値を共有する戦略的グローバル・パートナーとして重視しています。そして、両国の緊密な友好関係の重要な礎となっているのが、海外で最大の約200万人の日系人、及び約20万人の在日ブラジル人の存在という、特別な人的な絆です。

日本人移住者及び日系人は、移住後に大変な苦労を味わいましたが、勤勉に努力を重ね、ブラジル社会の信頼を勝ち得て、ブラジルの発展に大きく貢献してきました。そのことに改めて敬意を表したいと思えます。

ブラジルにおける日系社会は、日本の文化や美德・価値をブラジル国内で伝播し、日本に関心を持つきっかけを与えてくれる、両国の交流の重要な架け橋です。最近では、若手の日系人による日系社会の活動も活発に行われていることを頼もしく思います。例えば、ブラジリアでは、若手日系人が日系の企業家のネットワークの強化に向けた取組を推進していると承知しています。今後も、私自身もできる限り多くの日系社会の活動に参加し、共に盛り上げていきたいと思えます。

また本年、ブラジリアの建設60周年を迎えたこともお祝い申し上げます。その建設に際しても、当時のクビチェック大統領による、首都の消費をまかなう野菜、果物等の食料生産の協力の呼びかけに日系社会は応え、貢献しました。近代的な都市計画と共に、豊かな自然環境に恵まれているブラジリアの魅力を、ブラジルの国内外でもっと多くの方に知ってもらえるよう、ブラジリアに住む日本大使としては、DF政府・議会とも協力しつつ貢献していきたいと思えます。

さらに、日本経済に貢献している在日ブラジル人コミュニティは、今年30周年を迎えました。在日ブラジル人が多く居住する地域では、彼らが地域社会に適応することを助けるため、職場や学校等で様々な施策が進められています。30周年の節目に、そうした努力を両国双方が引き続き重ねていくことの重要性を想起したいと思えます。

本年国交125周年を迎えた日本とブラジルの関係は素晴らしく良好ですが、経済関係、グローバルな課題への協力、文化交流等、様々な分野において発展の余地はまだまだ広大だと考えています。ニシモリ議員、カタギリ議員を始めとする伯日議連の皆様や、ルーシー議員を始めとするDF議会の皆様とも連携して、日ブラジル関係の一層の強化に引き続き尽力していきたいと思えます。

最後に、現在新型コロナウイルスにより私たちは困難な状況にありますが、皆で支え合えば、きっとこの困難を乗り越えられると思えます。共に頑張りましょう。御清聴ありがとうございました。

(了)